

「ベトナム国家大学ハノイ校サマースクール参加報告書」

京都大学法学部3年 成宮里美

約2週間ハノイのホテルに皆で滞在し、平日はベトナム国家大学ハノイ校に通いました。ホテルの部屋はとてもきれいで、朝ご飯に食べられるフォーがおいしかったです。ホテルから30分ほど歩いたところに1週目に通う外国語学部がありましたが、初めは信号のない大きな道路を大量のバイクが通るなか渡るの、毎日ホテルに迎えに来てくれたベトナム大学の方がいてくれてとても怖かったです。1週間くらいたつと、自分たちだけで道路を渡って夜ご飯を買いに出かけたり、買い物に行けるようになりました。外国語学部では簡単なベトナム語を教えていただいたり、日本語を勉強しているベトナム人学生の授業にお邪魔させていただき、グループになって交流したりしました。2週目はホテルからタクシーで30分ほどのところにある人文社会学部の授業を見学させていただき、そこでも日本語の授業に参加させていただきました。大学での最終日には、ベトナム人学生と8人ほどのグループになり、共同発表を行いました。私たちのグループは日本とベトナムの女性の仕事の仕方や結婚観・結婚式の違いについて発表しました。また休日には旅行会社の方にチャン・アンやドゥンラム村に日帰り観光に連れて行っていただきました。

首都ハノイに長く滞在するのは初めてで、そこではあまり家の中と外の区別がないように感じられたことがとても印象的でした。昼でも夜でも多くの人が家の外に出て座っていたり、中と外が扉で仕切られていないような場所でお店をしていたりすることが、日本と比べてとても多かったように思います。またレストランや食堂のような場所でも、外に低いテーブルと小さな椅子がたくさん置いてあって、外の風にあたりながら食べるのが多かったです。ホテルの近くにはいろいろなお店があり、ベトナム大学の学生のみなさんとの交流だけではなく、ホテルやコンビニ、カフェ、靴屋さんなど様々な場所で経験したベトナムの方との何気ない交流も楽しいものでした。あまり英語は通じないことが多かったですが、道端の靴屋さんで「Welcome to Vietnam」と言われたり、コンビニでどこから来たのか聞いてくださったり、ハノイで出会った人はとても優しい方ばかりでした。この2週間では、生活をするなかで最後まで慣れなかったこともあり、また日本とは経済状況が大きく異なることによる社会の違いを常に感じつつも、ベトナムの国の素敵な人や光景にたくさん出会え、どの国の文化も同じように大切であるということに改めて感じました。また日本について客観的に考えるきっかけにもなりました。これからの残りの大学生活や進路の選択において、今回感じたことを生かしていきたいと思います。